

## みやぎ県南中核病院改革プラン評価結果

改革プラン評価委員長 本郷道夫

(公立黒川病院管理者／東北大学名誉教授)

平成19年に総務省から自治体病院改革にむけてガイドラインが発表されました。みやぎ県南中核病院はその中で積極的な改革方針を打ち出し、診療機能の充実をはかるとともにハードルの高い地方公営企業法全部適用を目指したことは特筆に値するものです。また、宮城県の地域医療再計画の中で中核病院の存在感をより強固にしたうえで順調に改革プランの目標達成に向けて機構改革を進めてきた関係者の皆様の努力に敬意を表します。改革プランの実行は着実に進んできていましたが、平成24年3月の東日本大震災は病院経営にとって大きな打撃を与えました。直接的被害ばかりでなく、風評のために研修医の応募がゼロになったことは残念なことでした。津波による沿岸部の医療体系の崩壊を立て直すための復興計画は、地域医療再生計画、改革プランの遂行にも少なからぬ影響を与えたと考えますが、その大きなうねりの中で病院の進路を惑うことなく導いた内藤院長、貫和企業長の努力に感服する次第です。これから、さらに中核病院が発展することは疑うところはないと感じます。さらに一層の発展をお祈りする次第です。